

訪問看護支援センターだより

<http://shien.tottori-kangokyokai.or.jp/>

発行：公益社団法人鳥取県看護協会 鳥取県訪問看護支援センター 訪問看護ステーション数：72か所（令和5年10月現在）

CONTENTS

会長あいさつ

事業報告（4月～9月）

- 人材育成
- 経営支援
- 普及活動

新シリーズ 訪問看護ステーション ダーツの旅

制度・報酬Q&A

キャリアアップ研修のご案内

マナブルのご案内

Information

スタッフ紹介



公益社団法人鳥取県看護協会
会長 松本 美智子

平素より、鳥取県訪問看護支援センターの事業につきまして、ご理解とご協力をいただきまして、感謝申し上げます。

8月には台風7号の進路にあたり、鳥取県は大きな被害を受けましたが、被災された皆さまにはお見舞い申し上げます。各事業所は、今年度中にBCPの作成が必須となっておりますので、今回の経験も反映させていただきたいものです。

さて、鳥取県では、今後の在宅医療の需要増を見据えて、訪問看護師を確保するとともに、訪問看護ステーションの機能強化を推進し、安定的なサービスにつなげることを目的に訪問看護ステーション機能強化事業が展開されています。人件費等の補助事業が新設され、訪問看護ステーション大規模化推進のためのワーキングが設置されました。訪問看護ステーション大規模化推進のためのワーキングは、鳥取県看護協会が受託し、訪問看護ステーションの管理者の方にも構成員として参加していただき、議論を始めているところです。

さらに、訪問看護支援センターに職員が1名増員され、初任者訪問看護師の現任教育に係るアウトリーチ支援事業もスタートさせ、初任者訪問看護師の定着や訪問看護師としての質の向上を図っていきたく考えています。

ぜひ、これらの事業を活用していただくとともに、今後ともご理解ご協力をいただき、県民がそれぞれの地域でその人らしく安心して生活できるよう取り組んでまいります。



●訪問看護キャリアアップ研修

この研修は、訪問看護ステーション管理者・職員の質の向上および地域で質の高い組織的な訪問看護サービスを提供できることを目的に実施しています。

4月～9月は以下のとおり研修会を開催しました。

開催日	内容	講師名	参加人数
4/22(土) 4/26(水) 4/29(土)	精神科訪問看護 基本療養算定 要件研修	鳥取県立厚生病院・鳥取県立精神保健福祉センター 医師 植田 俊幸氏 南部町国民健康保険西伯病院 精神科認定看護師 高田 久美氏 相談支援センターサマーハウス 課長・ソーシャルワーカー 影井 千春氏	28名
5/12(金)	制度・報酬	公益社団法人鳥取県看護協会 鳥取県訪問看護支援センター所長・在宅ケア特定認定看護師 鈴木 妙氏	12名
8/23(水)	労務管理	加藤看護師社労士事務所 代表 加藤 明子氏	13名



精神科訪問看護基本療養算定要件研修の様子



労務管理研修の様子

受講生の声



- 事前に資料の紹介があり、それに沿って一つずつ具体的な例をあげて、説明してもらいわかりやすかった。日々の訪問で今日の学びを意識しながら働きたいと思います。
- とても良い研修でした。実際の現場で、自分の看護ケアが正しいかどうかを確認したくて参加しました。講師の先生方には、個人的質問も返していただき、今ある当ステーションの課題の答えが出ました。ありがとうございました。

●訪問看護職員養成講習会

この研修は、訪問看護に必要な基本的知識と技術を習得し、訪問看護の質を高めることを目的として実施しています。

約7カ月にわたる講習会は

- ・ 8回の講義
- ・ 約25時間のeラーニング (自己学習)
- ・ 9～11月の間に「病院1日間」「地域包括支援センター1日間」「訪問看護ステーション3日間」の計5日間の実習を行います。

今年度は27名が参加し、研修中は活発な意見交換の様子も見られました。

12月20日に閉講式を予定しています。



開講式 (令和5年5月25日)

開催日	内容	講師名
5/24(水)	訪問看護の実際と必要な基礎技術	医療法人十字会 訪問看護リハビリステーションのじま 管理者 酒本 さおり氏
6/14(水)	フィジカルアセスメント	鳥取大学医学部附属病院 心臓リハビリ専従看護師 石賀 奈津子氏
6/28(水)	感染の基本 訪問看護における感染対策	鳥取社会福祉専門学校 教師・感染管理認定看護師 大畑 悦子氏 医療法人養和会訪問看護ステーション仁風荘 在宅支援部長・感染管理認定看護師 米田 桂子氏
7/ 5(水)	リハビリステーションの概念と基本アプローチ 呼吸リハビリテーション	さとに訪問看護リハビリテーション 管理者・理学療法士 米井 亮二氏 さとに訪問看護リハビリテーション 主任・理学療法士 北浦 拓也氏
7/19(水)	スキンケア	すまいる訪問看護リハビリステーション 所長・皮膚排泄ケア認定看護師 坪倉 真由氏
8/ 2(水)	摂食嚥下障害	鳥取赤十字病院 摂食嚥下障害看護特定認定看護師 森下 智佳氏
8/19(土)	エンド・オブ・ライフ・ケア	独立行政法人国立病院機構 大阪刀根山医療センター 副看護部長 緩和ケア特定認定看護師 宮本 絵美氏 公立陶生病院 がん診療部 緩和ケアセンター 看護主任 熊澤 尚美氏
12/20(水)	小児訪問看護	社会医療法人同愛会医療支援型グループホーム博愛 サービス管理責任者 坂本 万理氏

●訪問看護についての相談事業

4月～8月末現在で145件の相談が寄せられています。相談内容は、訪問看護加算の算定要件など訪問看護ステーションからの相談が多く、病院や介護相談支援事業所から訪問看護利用相談などの相談もあります。

9月より、新規事業として「**初任者訪問看護師の現任教育に係るアウトリーチ支援事業**」を開始します。鳥取県訪問看護支援センターアドバイザー等が、管理者（育成担当者）並びに初任者訪問看護師に対して、現任教育に係るアウトリーチ支援を行うことで、初任者訪問看護師の定着や訪問看護師としての質の向上を図ることを目的としています。ぜひ、ご活用ください。

※詳細については、ホームページをご覧ください。

●コンサルテーション

9月末現在で7件の相談支援等を行っています。訪問看護認定看護師を派遣し、訪問看護ステーションの立ち上げ、開業後の運営等、抱えている課題などを一緒に考え、解決を図りより質の高い訪問看護を提供できるような支援を行っています。

料金は無料です。お気軽にご相談ください。



●訪問看護ステーション大規模化のためのワーキング

2040年には、団塊の世代が90歳以上に、またその子どもの多くも65歳以上となり、少子高齢・多死時代のピークを迎えるといわれており、訪問看護師の役割や期待は更に大きくなっていきます。1992年に老人訪問看護制度が策定され、訪問看護ステーションは増加の一途をたどっていますが、事業所の規模で見ると、半数近くが小規模事業所となっています。看護の力をフルに発揮して、これからの地域共生社会を支えていくためには、訪問看護師の人材確保と育成と同時に、訪問看護の質向上、ICT化による業務の効率化や働き方改革などが求められます。このような課題をクリアしていくためには、様々な課題があり、ある程度の事業所規模があったほうが体制を整備しやすくなります。このようなことから、訪問看護ステーションの質の確保と安定的な事業運営、職員の定着、地域貢献を実践するために、訪問看護ステーションの大規模化が推進されています。

鳥取県においても、常勤看護師4人以下の小規模ステーションが約6割となっています。2040年を見据えた持続可能な県内の訪問看護の提供体制について具体的な検討を行い大規模化を推進するため「訪問看護ステーションの大規模化推進のためのワーキング」を設置し、令和5年8月7日（月）に第1回を開催しました。



第1回訪問看護ステーションの大規模化推進のためのワーキング

●訪問看護の出前講座

地区公民館や介護支援事業所等で訪問看護や在宅療養に関する出前講座を無料で開催しています。勉強会や職員研修会としてご活用ください。

開催日	依頼者	対象	内容	参加人数
5/15(月)	浜坂地区公民館	住民	訪問看護の利用の仕方	16名
5/26(金)	伯耆町立溝口公民館	住民	もしもの時、ACP人生計画	22名
5/30(火)	新泉公民館	住民	健康寿命と介護予防について	15名
6/9(金)	居宅支援センター ル・サンテリオンよどえ	専門職	介護・医療連携	15名
9/14(木)	鳥取市南部地域包括支援センター	専門職	在宅での看取り・終末期ケアに必要な知識	15名

参加者の声



- 最期の在り方を十分に家族に伝え、エンディングノートに書き込みしておきたいと思います。
- 今後、訪問看護を利用する場合の参考になりました。
- 医療と介護の連携を振り返り、多職種で在宅ケアを支える大切さが理解できました。



伯耆町立溝口公民館



～住み慣れた地域や家で安心して暮らせるために～
県内訪問看護ステーションにスポットをあてて、紹介していきます。



せいきょう ほうもんかんご 訪問看護ステーションすずらん

〒680-0833 鳥取市末広温泉町203 TEL・FAX：0857-22-4666 e-mail：tmc62@mcoop-tottori.jp

01 特色、特徴、理念

在宅は「自分らしく生活」する場。病気や障害があっても、1日1日を大切に、充実して、楽しく、幸せに過ごせるように。笑顔が沢山みられるように。食べる、活動する、楽しむ、排泄する、眠るなど、当たり前な日常を普通に過ごせるようにお手伝いします。

急性期、回復期、慢性期、緩和ケア、療養病棟、精神科など様々な経験を持つ幅広い年代のスタッフが、お互いの強みを活かし、看護とリハビリが連携しています。



すずらん

02 アピールポイント

予防と予測、残存機能の維持・増進の視点で、いつまでもその方らしくを支えます。鹿野と若桜のサテライト事業所が、中山間地域でのニーズに対応しています。法人関連の病院・診療所・歯科・居宅・通所・小多機・ヘルパーとの連携もスムーズです。



すずらん若桜 (サテライト)

03 スタッフさんの声

サテライトわかさNs主任

若桜町は、人口約2,700人の小さな町です。谷が多く公共交通機関も少ないため、体調が悪くても、すぐに病院にかかれません。そんな場所でも、都会と同じレベルの医療や介護を届けたいという思いで、日々訪問しています。看護師が定期的に訪問することが、利用者さんの安心や早めの受診につながっています。住み慣れた地域、生まれ育った場所で過ごしたいという思いに寄り添える看護を目指しています。遠隔地での死亡診断の補助についての研修も修了し、医師不足にも対応しています。



すずらん鹿野 (サテライト)



ほうもんかんご 訪問看護リハビリステーション 三朝温泉病院

〒682-0197 鳥取県東伯郡三朝町山田690 TEL：0858-43-5288 FAX：0858-24-6249 e-mail：houmon@hosp.misasa.tottori.jp

01 特色、特徴、理念

三朝町は人口約6,000人の小さな温泉地で、自然豊かな町です。当ステーションは三朝温泉病院内に開設して9年、現在看護師4人と併設する訪問リハビリを兼務するセラピストが4人在籍しています。住み慣れた地域でその人らしい日常がおくれるように看護・支援することを理念としてサービスの提供をしています。小さなステーションですが、それ故の親しみやすさがあると思っています。



02 アピールポイント

昨年からは母体となる三朝温泉病院も訪問診療を開始し、“自宅での医療”が少しずつ身近になっているように感じています。病院内での情報共有ができ、切れ目のない支援ができることは強みとなっています。田舎ではまだまだ“自宅での医療”には啓発や周知が必要ですが、自宅でこの先も過ごしたいと思った時にそばに寄り添えるステーションでありたいと思います。山の上でも谷の底でも看護が提供できるのは嬉しいことです。“在宅生活を支える”を合言葉に使命感を持って訪問させていただきます。

03 スタッフさんの声

- 訪問の合間に美しい緑ときれいな空気に癒され、気持ちをリセットして次の訪問に向かえます。雪道の運転が上手になりました。
- チームワークがよく風通しの良い事業所です。一人一人の責任感の強さと密な連携は最強です。
- コロナの流行や子育て世代が多い中での助け合いが抜群です。
- 来てもらうだけで安心する、と言ってくれていただくことがありこれが訪問のやりがいなんだと感じています。



ひのびょういんくみあいほうもんかんづ 日野病院組合訪問看護ステーション

〒689-4504 鳥取県日野郡日野町野田332番地 TEL : 0859-72-2706 FAX : 0859-72-2707 e-mail : hinohp3@sanmedia.or.jp

01 特色、特徴、理念

鳥取県西部の中山間地にある日野郡唯一の訪問看護ステーションです。日野町はもとより、江府町、伯耆町、日南町、県境をまたいで岡山県新見市(千屋、神郷)や真庭郡新庄村へ訪問看護を提供しています。

【地域の皆様に笑顔と安心を】のローガンのもとに、看護師3名、理学療法士4名、言語聴覚士1名、事務員1名一丸となりご利用者様ができる限り住み慣れた地域で安心して生活できるよう24時間365日稼働しています！



02 アピールポイント

子育て・介護世代職員が多く在籍しているため事務業務の効率化に向け、

- ・訪問看護業務支援システム
- ・医療福祉従事者向け情報共有アプリ「パッと見えNet」

などICT導入に積極的に取り組み、直行直帰など事務所に来なくとも仕事ができる業務フローを確立しています。

また、居宅介護支援事業所と併設しておりますので、ケアマネジャーと介護保険サービスの内容やご利用様についての相談など、細やかな連携が図れる環境にあります。



03 スタッフさんの声

- 自然豊かな地域を、日々訪問しています。

Sさんと妻との会話。「あら、お父さん。見て、アゲハですよ。綺麗ですね。ほら、そこです。」「綺麗だね。今日も一日元気で過ごせそうだ。」と仲睦まじくお話し。Sさんは在宅酸素使用し、大好きだった旅行ができません。部屋の大きな窓枠を自然なキャンパスにして、四季の自然を満喫されています。お二人の自然のキャンパスがこれからも増えますように。

- 訪問リハビリを担当しています。利用者さんと屋外歩行練習すれば、花の名前や草木の名前を教えてください。畑の中を歩けば、ついでに野菜の収穫をしたりもしています。身体と心の健康維持のお手伝いによりがいを感じています！

制度・報酬 Q&A



Q 介護保険を現在新規申請中、認定結果ができるまでは、医療の訪問看護で訪問しても良いですか？

A 介護保険優先のため介護保険でいかなければなりません。(※別表7、特別訪問看護指示書の方は医療保険。)

新規申請中に介護保険で訪問看護を行う場合、訪問までにケアマネジャーによるケアプラン立案・担当者会議が必要です。介護保険でケアプラン立案がされていない場合は10割負担となります。

また、要支援か要介護が微妙で、どちらに認定されるか不明なときは、予防と介護の両方のケアプランを立ててもらう必要があります。

介護保険非該当になった場合は医療保険(週3回まで利用可)となります。

※別表7とは厚生労働大臣が定める疾病等。

別表7 医療保険が優先になる19疾病+1の状態

1. 末期の悪性腫瘍	11. プリオン病
2. 多発性硬化症	12. 亜急性硬化性全脳炎
3. 重症筋無力症	13. ライソゾーム病
4. スモン	14. 副腎白質ジストロフィー
5. 筋萎縮性側索硬化症	15. 脊髄性筋萎縮症
6. 脊髄小脳変性症	16. 球脊髄性筋萎縮症
7. ハンチントン病	17. 慢性炎症性脱髄性多発神経炎
8. 進行性筋ジストロフィー症	18. 後天性免疫不全症候群
9. パーキンソン病関連疾患(※1)	19. 頸髄損傷
10. 多系統萎縮症(※2)	20. 人工呼吸器を使用している状態(夜間無呼吸のマスク換気は除く)

特別訪問看護指示書とは、急性増悪等で、週4回以上の頻回な訪問を要する場合。

キャリアアップ研修のご案内 (10月以降)

10月14日(土) 10:00~16:00	フィジカルアセスメント(臨床推論) ~生きる力を最大限に引き出す看護実践~	倉吉未来中心 セミナールーム3
11月15日(水) 10:00~16:00	事例検討	倉吉未来中心 セミナールーム3
11月19日(日) 13:00~16:00	高齢者の尊厳と権利擁護※ (職能Ⅱ共催)	鳥取県看護研修センター 大研修室
12月16日(土) 9:15~17:30 12月17日(日) 9:00~16:10	ELNEC-J高齢者カリキュラム※ (教育部共催) エンド・オブ・ライフ・ケア 2日間の受講が必要。	鳥取県看護研修センター 大研修室

※マナブルからの申し込みをお願いします。

鳥取県看護協会では2023年度よりオンライン研修システム「manaable(マナブル)」を導入しています。研修の受講にあたりましては従来の研修申込~受講までの流れが変わりますのでご注意ください。マナブルからの申込については右のご案内をご覧ください。



Information

冊子類ご活用ください。無料でお送りします



在宅療養をはじめる前に



訪問看護ステーションガイド



小児科訪問看護のご案内

..... 鳥取県内訪問看護ステーション一覧表



東中西部版



精神科対応版



小児科対応版

マナブル(manaable)のご案内

① 鳥取県看護協会研修案内から
研修申込サイト (manaable) にアクセス

② 「新規登録」 ボタンをクリック



③

会員の方
・メールアドレス
・日本看護協会会員
・鳥取県看護協会会員番号
・生年月日 を入力して送信

非会員の方
メールアドレス
を入力して送信

④

入力したメールアドレスに、本登録のURLが届きます

⑤

本登録画面に必要事項を入力して完了!

*ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

訪問看護を体験してみませんか!

鳥取県訪問看護支援センターでは訪問看護師に同行して訪問看護の体験が出来る「訪問看護体験」を行っています。

また、鳥取県ナースセンターでは、需要が増加する訪問看護ステーションに勤務する看護職確保のため、「訪問看護体験事業」を実施しています。こちらのほうも是非、ご活用ください。事業の違いは以下のとおりとなりますので参考にしてください。

事業	訪問看護支援センター事業	ナースセンター事業
項目	訪問看護体験実習	訪問看護職場体験
対象	訪問看護を目指す学生・看護師で訪問看護に興味のある看護職	看護師等資格があり、就業したい訪問看護ステーションを概ね決めている者
体験の内容と期間	<ul style="list-style-type: none"> ●「初めの一步」(2日間) 1日目: 訪問看護の概要についての講義 2日目: 訪問看護師に同行 ●看護体験学習 随時実施 1日か半日: 訪問看護師に同行 	<ul style="list-style-type: none"> ●最大5日間(希望に応じて) 全日: 訪問看護師に同行
給付金	体験者を受け入れた訪問看護ステーションに支給: 1日当たり8,000円 (半日の場合4,000円)	体験者に支給: 1日当たり5,000円 (該当18名まで)
問合先	訪問看護支援センター (0857-24-1533)	鳥取県ナースセンター (0857-25-1222)

鳥取県訪問看護支援センター スタッフ紹介

新スタッフより挨拶

- 鳥取県の訪問看護を取り巻くすべての方の笑顔のために頑張ります!! (村上)
- 皆さまとの出会いを大切に、しっかりとサポートできるよう努めます。(山本)



鈴木 妙 (すずき たえ)

鳥取県訪問看護支援センター所長 兼
在宅支援部部长 在宅ケア特定認定看護師

村上 志奈 (むらかみ しな)

鳥取県訪問看護支援センター 看護職

山本 雅美 (やまもと まさみ)

鳥取県訪問看護支援センター 事務職

以上、3名のスタッフで運営して参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

鳥取県訪問看護支援センター

電話・FAX 0857-24-1533

〒680-0901 鳥取市江津318-1

✉ sodan@tottori-kangokyokai.or.jp

